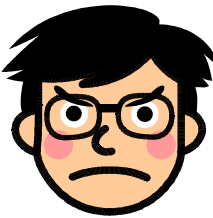
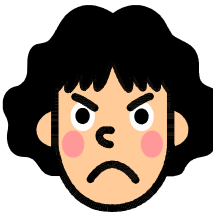
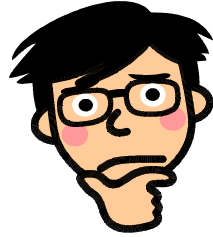
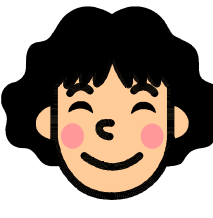




## 学校から発出される文書に対する皆さんの声

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

学校から保護者や地域の皆さんに向けて、たくさんの文書が発出されています。果たして読みやすいでしょうか。そして、その内容は伝わっているでしょうか。学校から出される文書について、これまでに皆さんからいただいた声をまとめてみました。

	<p>【「専門用語」が分からない】</p> <p>保護者には理解が難しい「専門用語」が使われていることがよくあります。学習指導要領の方向性を踏まえてくれることはありがたいですが、「社会に開かれた教育課程」とか「主体的・対話的で深い学び」と言われても理解できません。「専門用語」がたくさん書かれた文書を見ると、学校との距離が遠くなったような気がします。難しい言葉は、誰にでも分かるような表現に変えて発信してもらえないでしょうか。</p>
	<p>【「学校用語」が分からない】</p> <p>教職員の皆さんは当たり前に使っている「学校用語」ですが、保護者には分からないことがたくさんあります。そのような用語に学校はもっと敏感になってほしいと思います。例えば、「出席停止」ですが、意味が分からなくてインターネットで検索したら、問題行動の場合の出席停止措置が出てきました。「罰則と同じ扱いなのか」と不安になりました。学校として、どのような意味で使ったのか書き添えるなどしてくれるとありがたいと思います。</p>
	<p>【文書を読みやすくする工夫をお願いします】</p> <p>文書の口調がすごくへりくだっていることが気になります。時候の挨拶と慣習的な表現（皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます）は必要ないと思います。単刀直入に本題に入ってみてはどうでしょうか。また、長文は避ける、短文で、できるところは箇条書きにする、適宜改行する、全体は明朝体で、強調するときはゴシック体にするなどフォントを変える、イラストや図表を入れる、コラムのように四角く囲むなど、メリハリを付けてはどうでしょうか。</p>
	<p>【ありがとうございます】</p> <p>学級担任の先生方が作成してくれる学級通信は、保護者に対する「相手意識」をいつも感じています。文章だけでなく、写真などを効果的に使い、子どもや学級の成長を伝えてくれます。また、課題も明確に示してくれるので、それが学級や学校に対する安心感につながります。授業や行事の準備、各種会議や研修会への参加など、激務の中でも子どもたちを丁寧に見取り、毎週、学級通信を届けてくれる先生方に感謝しています。</p>

学校から発出される文書に対する皆さんの声には、学校改善や各種教育活動の充実につながるヒントに溢れていると実感しています。1つでも、2つでも、いただいた声の内容を実現できるように努力していきたいと考えます。新年も学校に対する「声」をよろしくお願いします。